

校報

K O U H O U



自らの未来に向けて、
自らの今を頑張る意味は
ここに 있습니다。

日本大学三島高等学校・中学校 校長
渡邊 武一郎



令和2年度も残り僅かとなりました。今年度は日本中が新型コロナウイルス感染症に振り回された1年間でした。日本大学三島高等学校・中学校でも全校休校期間を経てオンライン授業として学校を再開し、その後は通常授業となりましたが、例年実施されていた行事等は中止せざるをえませんでした。朝起きて、家族と一緒に朝食をとり、学校に登校し、授業を受け、友人たちと楽しく語り合いながら昼食をとり、放課後は部活動に励んでいた皆さんの日常は、新型コロナウイルス感染症によって脆くも崩れ去りました。2月からはワクチンの接種も始まり少しずつ以前の日常が戻りつつありますが、完全に元に戻るのはいしばらく先ようですし、そもそも完全に元に戻ることができるのか疑問でもあります。私

TOPICS!
JUNIOR HIGH SCHOOL

オンライン

JUNIOR

宿泊研修(1年生)



9月24日(木)から25日(金)にかけて中伊豆ホテルワイナリーヒルで宿泊研修を行いました。今年度は三島市内の散策(楽寿園・源兵衛川・三嶋大社)からはじまり、浄蓮の滝を見てワイナリーに入りました。途中の源兵衛川では水の中に入り遊んでいる生徒もいました。初めての宿泊を伴う行事で、もちろん緊張感もあったと思いますが、食事・入浴・就寝など時間への意識をもち、時間を守ることができたのは自信につながったのではないかと思います。

林間学校(2年生)



9月23日(水)から25日(金)にかけて岐阜県白川郷、高山市、長野県上高地で林間学校を行いました。静岡県東部エリアでは9月の宿泊行事はほとんど延期や中止になる中で、実施するか否か直前まで難しい状況にありました。しかし当日は気持ちの良い秋晴れの中で無事実施でき、生徒たちは様々な体験をし、かけがえのない思い出を作ることができました。

宿泊研修(3年生)



9月24日(木)から25日(金)にかけて熱海の伊豆山研修センターで卒業に向けての学年作り、学級作りを目的に、3年生の宿泊研修を行いました。初日の全体研修では、教科の課題制作や、生徒会・学年委員企画に取り組み、2日目はクラス別研修としてクラスごとに話し合いをして団結力を高めました。宿泊に参加しなかった生徒も、自宅からビデオ会議アプリを利用して、研修に参加し、3年生全員で研修を実施することができました。

持久走記録会



2月13日(土)に持久走記録会を実施しました。1年生は設定した目標達成のために、上級生は昨年の自分の記録を超えるために努力を重ねてきました。授業だけでなく、自主的に練習する姿も見られました。全力で走りきり、達成感のある行事となりました。

たちの日常生活は新型コロナウイルス感染症によって大きく変わりました。

そんな普段と違う日常を過ごしてきた私たちを知る由もなく、キャンパスの桜はいつものように咲き、夏には希望の森から蝉時雨が聞こえ、日大通りの銀杏並木は黄金色に染まりました。そして今、この原稿を書いている部屋の窓からは閑かに咲き始めた梅の花が見えます。自然は新型コロナウイルス感染症とは関係なく、春夏秋冬いつもと変わることなく様々な顔を見せてくれます。森羅万象は不要でもなく不急でもありません。花は咲いては散り、蝉は事切れるまで鳴き、闇夜を照らす月も留まることなく満ち欠けを繰り返します。

時々刻々と物事は変わり続け、私たちが例外ではありません。永遠に不変な

ものはなく、しかし、それ故に私たちは現在自らが置かれている状況を変えることができます。自らの未来に向けて、自らの今を頑張る意味はここにあります。今の自分に、そして自分の置かれている状況に不満があるなら、抜け出したいなら、今この瞬間に行動しましょう。今の自分を変える事によって自分の未来を変えることができます。皆さんには無限の可能性があり、誰もが素晴らしい未来を創ることができます。明日も昨日も本当は存在せず、唯一存在するのは今日だけです。更に言えば、私たちが何かを為すことができるのは今日だけです。本当の意味で今を生き、昨日という今を受け入れ、明日という今を我がものにしましょう。

秋桜祭(体育の部)



10月28日(水)、桜アリーナなどで、秋桜祭体育の部を行いました。例年とは違う形での開催になりましたが、生徒会を中心に新しい競技を増やし最後の全員リレーでは白熱したレースとなりました。全学年を通して親睦がさらに深まり、より一層団結することができました。

秋桜祭(文化の部)



11月21日(土)に秋桜祭文化の部を実施しました。今年はロックソランをマステゲームで行ったり、縁日を開いたりするなど新たな挑戦をしました。また、各学年の公演も仲間と力を合わせて素晴らしい作品を作り上げることができました。行事を通して同級生との絆や他学年との交流ができ、良い経験となりました。

生徒会長選挙



2月10日(水)に生徒会長・副会長選挙を実施しました。よりよい学校を作り上げるために立候補者・責任者共に選挙活動を頑張ってきました。また、生徒全員が選挙に対して真剣な姿勢で臨むことができました。来年度以降の生徒会活動に期待しています。

先端研究講座



日本大学各学部より大学の先生をお招きして日本大学が取り組む先端研究分野について学ぶ取り組みを毎年行っています。キャリア教育の一環とし社会とのつながりを考え、学問への興味・関心・意欲を育む機会としています。今年度は日本大学芸術学部長の木村政司先生より企業のロゴやペットボトルのデザインにまつわるお話をしていただきました。

勉強会



生徒会自治活動の一環として、勉強会を実施しました。他学年との親睦を深め「教える・教わる」ことでさらに学力を身につけることが目的です。教える側も教わる側もテストや英検に向けて時間を上手に使うことができました。問題を解けたことへの達成感や教えることの難しさを知る良い機会となりました。

オンライン授業

<input type="checkbox"/>		中3 円周角③ 説明を追加	<input type="checkbox"/>		中1理科 オンライン授業 第10回 中学1年生の理科のオンライン授業です。今回は植物の葉のつくりについて考えていきます！動画...
<input type="checkbox"/>		高校3年 国語 (平成30年度チャレンジ模試...) 説明を追加	<input type="checkbox"/>		中2 理科 高気圧と低気圧のまわりの風・天気 高気圧と低気圧のまわりの風のふき方と天気
<input type="checkbox"/>		社会と情報④ 説明を追加	<input type="checkbox"/>		5/28高3特進日本史B 説明を追加
<input type="checkbox"/>		38高校3年 進学 国語5限(2020 06 03) 説明を追加	<input type="checkbox"/>		第1学年 特進数学第24回 答え合わせ編 説明を追加
<input type="checkbox"/>		第1学年 特進数学第27回 説明を追加	<input type="checkbox"/>		第1学年 特進数学第24回 教科書編 説明を追加
<input type="checkbox"/>		演習プリントの解説 説明を追加	<input type="checkbox"/>		25高校3年 進学 国語2020 05 20 説明を追加

2020年4月16日、新型コロナウイルス感染症の流行により、全国に緊急事態宣言が発令されました。全国的に一斉休校の措置がとられましたが、本校は休校中もタブレット端末を使いオンラインでの授業を実施しました。

本校では2016年から生徒一人一人にタブレット端末を配付し、ICT教育を推進してきました。その下地があったからこそ、今回のようなケースにもすぐに対応することができました。オンライン授業では、動画配信だけでなくロイノート・スクールなどのアプリを使って課題や小テストも行っていました。「#バーチャルだけで中身はリアル」を合言葉に、登校できずともできる限り平常時に近い形で授業を受けられるように学校全体で協力して取り組みました。

授業担当者によって配信形式は異なり、それぞれの特性が色濃く反映されたオンライン授業は、生徒たちから好評を博しました。YouTubeに解説動画をあげたり、GoogleのMeetを使いライブ形式での授業を行ったり、どの先生も工夫を凝らした授業実践をしていました。

遠足(1年生)



11月10日(火)に1年生は遠足を実施しました。クラスごとに県内で行き先を決め、事前学習に熱心に取り組んでいました。コロナ対策もクラス内で考えて共有し、さらに例年は1クラスにつきバス1台を使用するところを2台使用するなど、様々な工夫をして実施しました。クラス単位で活動する行事が初めてということもあり、仲間同士の親睦を深められた良い行事となりました。また、終了後は行き先の紹介動画を各クラスで作成し、YouTubeで校内向けに公開しました。どのクラスの作品も、遠足を楽しんだことがよく伝わるユニークなものが多かったことも印象的でした。

学術・文化部門発表会



2月6日(土)に学術・文化部門発表会を開催しました。展示の部と学術発表の部は密を避けて実施し、公演の部は発表を直接鑑賞する場を設けず、部活動ごとに発表の様子を録画し後日校内で放送する形での開催となりました。

本年度は大きな発表の場を設けることが難しかったため、各部活動とも日頃の活動の成果を披露する数少ない機会として練習や準備を重ねて当日に臨みました。どの部活動も練習の成果がよく発揮され、生徒も昼休みの校内放送を真剣に鑑賞していました。

困難な中であつてもめげず、物事に前向きに取り組む生徒の姿が印象的な発表会となりました。

スポーツ大会(1・2年生)



12月15日(火)に2年生、17日(木)に1年生によるスポーツ大会がグラウンドや桜アリーナで行われました。各クラス男子チーム、女子チームがバレーボールやアルティメットに分かれて熱戦を繰り広げました。今年度は学年を4色に分けた色別(赤・白・青・緑)の結果で総合優勝が決まり、1年生は白団、2年生は赤団の優勝でした。生徒全員が感染対策として軍手を着用して競技に臨むことで、コロナ禍でも工夫をして行事を楽しむことができました。

体育大会(1・2年生)



10月28日(水)に体育大会が実施されました。今回はリレー、綱引き、クラス対抗長縄の3つの競技に絞り、さらに時間も午前中に1年生、午後には2年生とし、規模としては例年の半分にも満たない形式での実施となりました。例年とは違うグループ分けやルールを導入するなど、短縮開催ならではの工夫をして行いました。運動の得意不得意に関わらず、多くの生徒が楽しんで参加することができ、充実した時間となりました。

基礎学力到達度テスト(3年生)



毎年4月と9月(9月は3年生のみ)に行われる基礎学力到達度テスト。日本大学への進学を目指す附属校生にとって、極めて重要な試験となります。今年度の基礎学力到達度テストは4月の実施を中止し、その結果、9月の試験が例年よりもさらに重要なものとなりました。

テストが近づくにつれ、最終下校時間まで教室に残って自習したり、先生の所に質問に行ったりする生徒も増えてきました。直前講習は感染予防の観点から再びオンライン形式になりましたが、それぞれやるべきことにしっかり取り組み、万全の態勢で試験に臨みました。

今年度は9月24日(木)、25日(金)の2日に分けて試験を実施しました。度重なる逆境にも負けず、今年も多くの生徒が日本大学への推薦を獲得しました。



2020年度 大学受験合格者インタビュー

日大三島中
出身



東京理科大学

経営学部
国際デザイン経営学科

特別進学クラス

上原 大さん

日本大学三島中学校

Q. 進学先を選んだ理由と将来の夢について教えてください。

A 経営・国際・デザイン・デジタルの4つの柱の下で、環境・貧困・ジェンダー問題など多くの課題解決に取り組める東京理科大学経営学部の魅力を感じ志望しました。将来は国際機関に就職し、持続可能な社会づくりに尽力したいと考えています。

Q. 受験を迎える後輩にメッセージをお願いします。

A 受験勉強を進めていくうちに将来の夢が変わることもあるでしょう。しかし、学力さえつけていればそうなった時にも柔軟に対応することができます。受験は単なる途中経過です。その先を見据えて頑張ってください。



静岡大学

教育学部
教科教育学専攻
数学教育専修

特別進学クラス

山本 菜々子さん

インターアクト同好会
沼津市立戸田中学校

Q. 進学先を選んだ理由と合格の秘訣を教えてください。

A 将来故郷で数学の教師になりたい思いがあり、地元大学を選びました。夏休みから少しずつ対策して、受験の1か月前から本格的に面接と小論文の練習をしました。意識したのは自分を見失わないことです。軸を明確にする面接も小論文も上達していきます。試験の当日は自分が1番になると言い聞かせました。自信をもつと何も怖くありませんでした。

Q. 受験を迎える後輩にメッセージをお願いします。

A 世の中は厳しい状況にあり不安に思っていると思いますがそれはみんな同じです。だから仲間を大事にしてください。お互いに支え合うことで私も辛い時に何度も救われました。自分を信じて夢に向かって突き進んでください!



上智大学

文学部
英文学科

国際クラス

奈良部 元春さん

秦野市立南が丘中学校

Q. 進学先を決めた理由と合格の秘訣を教えてください。

A 紛争地域や貧困地域の人々を救いたいと思い、そのためには英語を勉強する必要があると感じ国際クラスに入学しました。在学中に1か月フィリピンへ、1年間オーストラリアへ海外留学をして、自分の語学力の稚拙さと視野の狭さに気付いたため、志望校はグローバルな視点の養成と高度な語学教育がなされている上智大学を選びました。それからはただひたむきに努力を重ねて成績を伸ばし、合格することができました。



日本大学

薬学部
薬学科

進学クラス

落合 玲菜さん

書道部
三島市立中郷中学校

Q. 合格の秘訣を教えてください。

A 志望校を決めてからは基礎学力到達度テストに向けて主に化学、数学に力を入れて勉強しました。直接学校に行けない時にもタブレット端末を活用し、わからない問題は積極的に質問して理解するようにしていました。学力の向上を感じることができるようになると、より一層高みを目指せるようになりました。

Q. 受験を迎える後輩にメッセージをお願いします。

A 解けない問題に不安になることがあっても「自分ここまで頑張ってきたから大丈夫だ」と言い聞かせ、諦めずに第一志望合格に向かって頑張ってください。

「学校推薦型選抜・総合型選抜」進路状況

※数字等はすべて令和3年2月16日現在までのものです
 ※一般選抜などを含む進路状況は4月以降にホームページ等に掲載予定です

令和2年度 卒業生進路状況 卒業者672名 (令和3年3月卒業予定)

区分	日本大学				国公立大学				他私立大学				準大学		専門職大学		専修・各種学校		その他 未定		
	大学		短大		大学		短大		大学		短大		大学		専門職大学		専修・各種学校				
	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合			
合格者数	373	4	28	0	4	1	5	1	0	0	117	25	6	3	1	0	1	0	25	21	
進路決定者数	365	4	28	0	4	1	5	1	0	0	112	22	6	3	1	0	1	0	21	21	
合計	369		28		5		6		0		134		9		1		1		42		77

日本大学合格者数 (令和2年度卒業生の日本大学合格者数) ※校友子女は一般に含む。法学部は2部を含む。

学部	大学																短期大学部			専門	総計	
	法	文理	経済	商	芸術	国際関係	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	小計	三島	船橋			小計
総合型選抜	0	0	0	—	0	2	—	0	1	1	0	—	—	0	—	—	4	0	—	0	1	5
学校推薦選抜型	36	46	46	18	4	53	13	1	49	28	12	1	0	1	59	6	373	26	2	28	4	405
合計	36	46	46	18	4	55	13	1	50	29	12	1	0	1	59	6	377	26	2	28	5	410

現役生の大学合格者数 (大学別)

国公立大学	私立大学																																																																																								
浜松医科大学(医) 1	日本大学 377	東京都市大学 1	文化学園大学 1	多摩美術大学 1	杏林大学 2	日本女子大学 1	東京学芸大学 1	早稲田大学 1	東京工科大学 1	東洋学園大学 1	名古屋芸術大学 1	国際医療福祉大学 4	東京女子大学 1	静岡大学 1	国際基督教大学 1	東京家政学院大学 1	鶴見大学 1	京都芸術大学 1	順天堂大学 3	女子栄養大学 1	静岡県立大学 2	上智大学 2	関東学院大学 5	東京国際大学 5	洗足学園音楽大学 1	東京医療保健大学 2	フェリス学院大学 2	都留文科大学 1	東京理科大学 4	東海大学 3	東京聖栄大学 1	静岡英和学院大学 1	聖隷クリストファー大学 2	大妻女子大学 3	明治大学 1	帝京大学 2	東京通信大学 1	静岡産業大学 3	湘南医療大学 1	鎌倉女子大学 2	立教大学 1	帝京平成大学 4	中京学院大学 1	常葉大学 5	東都大学 1	昭和女子大学 3	中央大学 1	城西国際大学 1	横浜商科大学 2	浜松学院大学 1	東京医療学院大学 2	白百合女子大学 2	法政大学 1	多摩大学 1	千葉科学大学 1	高千穂大学 1	健康科学大学 1	実践女子大学 2	北里大学 1	桜美林大学 2	太成学院大学 1	東京経済大学 2	ヤマザキ動物看護大学 1	相模女子大学 1	成蹊大学 2	近畿大学 1	和光大学 1	東京歯科大学 1	日本女子体育大学 2	芝浦工業大学 1	国土館大学 1	名古屋外国語大学 3	聖路加国際大学 1	京都女子大学 1	明治学院大学 4	淑徳大学 1	関西外国語大学 2	昭和薬科大学 1	共立女子大学 1	玉川大学 4	拓殖大学 1	愛知学院大学 1	東京薬科大学 2	東京家政大学 1	駒澤大学 2	日本文化大学 1	横浜美術大学 1	横浜薬科大学 2	東洋英和女学院大学 1

特別進学クラス合格大学一覧 (日大三島中高一貫生含む)

国公立大学	私立大学																														
浜松医科大学(医) 1	日本大学 34	立教大学 1	芝浦工業大学 1	多摩美術大学 1	東京薬科大学 1	日本女子大学 1	東京学芸大学 1	早稲田大学 1	中央大学 1	明治学院大学 1	洗足学園音楽大学 1	横浜薬科大学 2	東京女子大学 1	静岡大学 1	国際基督教大学 1	法政大学 1	帝京平成大学 1	東京経済大学 1	杏林大学 1	静岡県立大学 2	東京理科大学 4	北里大学 1	桜美林大学 1	東京歯科大学 1	日本女子体育大学 1	都留文科大学 1	明治大学 1	成蹊大学 1	千葉科学大学 1	聖路加国際大学 1	大妻女子大学 1

日大三島中学出身者合格大学一覧

国公立大学	私立大学																
浜松医科大学(医) 1	日本大学 24	芝浦工業 1	多摩美術大学 1	東京歯科大学 1	フェリス学院大学 1	東京学芸大学 1	国際基督教大学 1	中京学院大学 1	洗足学園音楽大学 1	東京薬科大学 2	大妻女子大学 1	静岡県立大学 1	東京理科大学 1	千葉科学大学 1	静岡英和学院大学 1	東京医療学院大学 1	昭和女子大学 1

高等学校

※結果は令和2年4月1日から令和3年1月31日までに判明したもので、紙面の都合により県1位、東海4位以上、全国大会出場以上の大会記録を掲載しました。

陸上競技

- 第75回静岡県陸上競技選手権大会
4×400mR 第1位 2年 佐竹結月(沼津三中)
助川拓真(伊東南中)
増田琉希(沼津三中)
好岡伸之輔(吉原一中)
- 第53回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
4×400mR 第1位 2年 佐竹結月(沼津三中)
助川拓真(伊東南中)
増田琉希(沼津三中)
好岡伸之輔(吉原一中)
- 400mH 第1位 2年 佐竹結月(沼津三中)
400m 第1位 /
- 第73回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会
三段跳 第1位 3年 君島菜那哉(湯河原中)
400m 第1位 2年 佐竹結月(沼津三中)
- 全国高等学校陸上競技大会2020
400m 第8位 2年 佐竹結月(沼津三中)
400mH 出場 /
走幅跳・三段跳 出場 3年 君島菜那哉(湯河原中)
800m 出場 3年 土岐優花(相洋中)
4×400mR 出場 2年 佐竹結月(沼津三中)
助川拓真(伊東南中)
増田琉希(沼津三中)
好岡伸之輔(吉原一中)

水泳

- 静岡県高等学校水泳競技通信大会
400m自由形 優勝 1年 押尾駿太(賤機中)
- 静岡県高等学校新人水泳競技大会
1500m自由形 優勝 1年 押尾駿太(賤機中)

男子テニス

- 東海私学テニス大会
団体戦 第3位 2年 佐藤徹平(御殿場南中)
鈴木克俊(南戸塚中)
藤井俊太郎(二宮中)
1年 青木琉亮(御殿場南中)
藤原瑞希(浜松北星中)
田原遼太郎(御殿場南中)
小山颯大(岩松中)

女子テニス

- 東海私学テニス大会
団体戦 第3位 2年 小塚彩梨(須津中)
外池明梨(文明中)
小田愛菜(旭陵中)
内海咲(沼津四中)
1年 芹澤杏(長泉中)
高田明香(誼山中)

応援部

- JAMfestDance Super Nationals
VarsityPom アメリカ大会 第2位
- 第20回全日本チアダンス選手権大会・
第18回全日本学生チアダンス選手権大会 関東大会
Pom部門 高校生Large 関東4位
- 第20回全日本チアダンス選手権大会・
第18回全日本学生チアダンス選手権大会 全国大会
Pom部門 高校生Large 全国6位
団体メンバー
2年 長田萌里(御殿場中)・片岡悠(山田中)
金井舞衣(秦野西中)・川口紗良(裾野西中)
坂口茉美(秦野南が丘中)・鈴木汐音(沼津二中)
- 1年 新井爽(中郷中)・石井伶奈(清水中)
小川碧月(大岡中)・小野日花里(大岡中)
上吉原怜奈(北上中)・菅澤桃香(国府中)
杉山菜々(沼津三中)・長谷川夢(北上中)
半谷春花(三島北中)
中2年 長澤美心都(香貫小)・新見こころ(今泉小)
吉川葉奈(大岡南小)

囲碁将棋

- 第31回静岡県高等学校将棋新人戦県大会
女子個人戦 優勝 1年 萩本夏々彩(日大三島中)
女子団体戦 優勝 1年 甲斐千尋(大岡中)
井島亜友美(日大三島中)
萩本夏々彩(日大三島中)

中学校

※結果は平成31年4月1日から令和2年2月12日までに判明したもので、紙面の都合により東部1位、県3位以上、東海8位以上、全国大会出場の大会記録を掲載しました。

水泳

- 静岡県中学校水泳競技通信大会
100m背泳ぎ 優勝 3年 中島芽都(清水小)
200m背泳ぎ 優勝 /
- 中学47都道府県通信水泳競技大会
100m・200m背泳ぎ 出場 3年 中島芽都(清水小)
50m・200m自由形 出場 2年 大嶽杏奈(三島北小)
- 静岡県中学校新人水泳競技大会
50m自由形 優勝 2年 大嶽杏奈(三島北小)
200m自由形 優勝 /

CLUB Pick Up!

陸上競技部



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により予定されていた主要大会が延期・中止になり、部員たちも日々の練習が満足にできない日々が続きました。しかし、主催者の方々の尽力により支部大会・県大会・全国大会が開催されたことで部員たちは目標を失わず練習に取り組みました。そして、男子400mでは全国大会3位入賞を果たすことができました。

このチームは、「日本一常笑」を掲げ、全国の舞台で戦うことを目標にしています。そのため、日々の練習からラウンドが上がった時にベストのパフォーマンスができるよう、選手・マネージャー・指導者がチーム一丸となることを大切にしています。

また、日々の生活を始め、練習において自分たちの置かれている環境やサポートして下さる周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに、3年間を最高の通過点にできるように日々活動しています。

水泳部



水泳部は今年度、コロナ禍の中で数少ない大会に出場し、それぞれ自己ベストタイムを狙いレースに挑むことができました。特に、中学3年生の中島芽都さんは全国大会通信大会に出場し、3年間連続で全国大会に出場を果たしました。日々の努力を結果に出すことができました。

現在、中学校合わせて27名で活動しており、選手は全国大会を目指して仲間と練習をしています。「チーム日大三島」として、チーム力を高めながら日々学校での練習時間を大切に頑張っています。

